

科目区分	専門分野	授業科目	小児看護方法論Ⅲ
講師名	桐生 晶子	実務経験の有無	有
単位数(時間)	1単位(15時間)	開講年次	2年次 後期
目的： 小児看護場面における看護技術と態度を養う 目標： 1) 子どものアセスメントに必要な技術を理解する。 2) 診察や処置および検査を受ける患児への看護を理解する。			
回	時間	講義内容	
1	2	小児看護における看護技術について	1) 小児看護技術とは 2) 安全・安楽の視点 ・事故防止 ・感染対策 ・抱き方 3) インフォームド・アセント 演習
2	2	日常生活の援助	1) コミュニケーション 2) 日常生活援助 ・食事(調乳・経管栄養など) ・排泄(おむつ交換)採尿バッグ ・清潔援助
3	2	アセスメントに必要な技術	1) プレパレーション 2) バイタルサイン 3) 身体計測 4) 身体的アセスメント 演習
4	2	検査・処置を受ける子どもの看護 1	1) 子どもにとっての検査・処置とは ・与薬 ・注射 ・輸液管理
5	2	検査・処置を受ける子どもの看護 2	・抑制 ・検体採取 ・骨髄穿刺 ・腰椎穿刺
6	2	検査・処置を受ける子どもの看護 3	・罨法 ・吸引 ・吸入 ・酸素療法 ・救命処置
7	2	小児 統合看護演習	GW 事例検討
8	1	単位認定試験	筆記試験
講義方法	講義 グループワーク		
評価方法	単位認定試験、レポート、演習課題(GWの取り組み)など含め総合評価する		
テキスト	医学書院：系統看護学講座 専門分野Ⅱ 小児看護学概論 小児臨床看護総論 小児看護学① 参考文献：看護実践のための根拠がわかる 小児看護技術 メヂカルフレンド社		
備考			